

肺腫瘍内科

《概要》

平成 9 年 10 月新病院開院以降、肺癌をはじめ広く呼吸器疾患全般を専門に診療に当たり、平成 19 年 6 月 1 日からは呼吸器科から肺腫瘍内科と診療科名を変更し、肺癌をはじめとする呼吸器腫瘍疾患を専門に診療を続けてきました。

常勤医師は肺腫瘍内科 森山あづさ医師 一人ではありますが、他科の協力の下、気管支鏡検査、化学療法、放射線治療、手術などの腫瘍疾患への検査・診断および集学的治療を続けております。

外来日は火曜日一日と木曜日午前、気管支鏡は月曜日と木曜日の午後行っており、事前の外来受診が必要です。

また、平成 21 年 11 月 30 日付けで呼吸器科医長の康天志医師が退職し、一般呼吸器・アレルギー疾患の診療は終了しました。

現在は肺炎、肺気腫、気管支喘息などの一般呼吸器診療は行っておりません。

《実績》（2009 年 6 月～2010 年 5 月）

気管支鏡症例数	101 例
肺癌 化学療法	30 例
化学療法同時放射線治療	2 例
症状緩和	12 例
局所放射線治療	7 例
非腫瘍性良性疾患	11 例
（気胸、肺炎、気管支喘息 その他）	
のべ入院患者数	113 人